千代女あさがおまつり出展用　朝顔作り作業目安

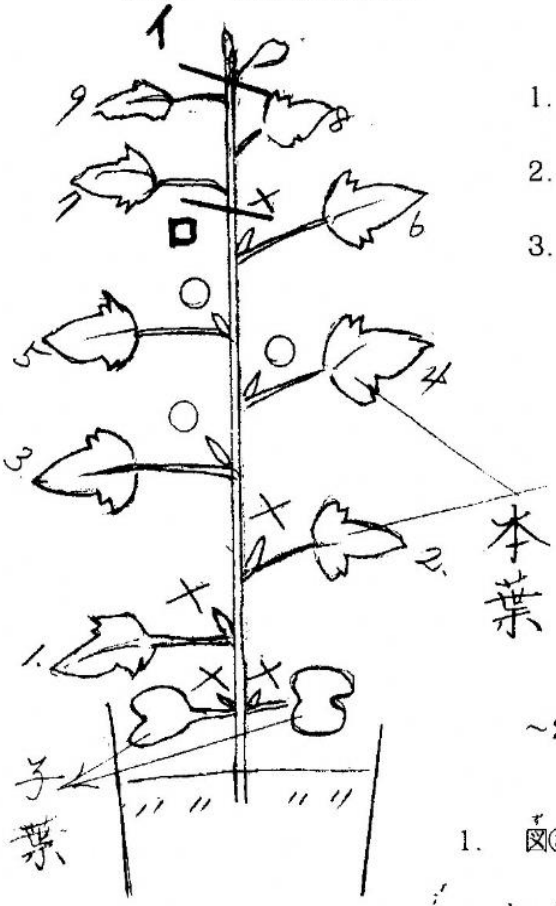
令和6年度版（審査：8月2日）栽培暦

月　　日	作　　業　・　肥　　料	水やり・その他
	〔子づる仕立て〕 配布された苗を本鉢植えまでは、日光と風通しの良い所に間隔を広げて置いて下さい。（6月２２日に道の駅めぐみ白山にて、苗の無料配布を行います。）	水道水は汲み置きし日向水にする。
６月２２日	本鉢定植　置肥　　ＩＢ化成（N10.P10.K10）を５ｇ～10ｇづつ２ヶ所に施す ※乾燥肥料なら大サジ１杯位を２ヶ所に施す	移植の後２、３回に分けたっぷり水をやり、 ２、３日は水やり不要
	置き場所　日光が当たり風通しの良い所に、高さ６０cm位の台に鉢幅位の間隔で並べ置く	
２３日	水肥　〔ハイポネックス(6.10.5)〕1,000倍６０ｃｃ位以後１日おきに	
２８日	本づる仮摘芯　　本葉８、９枚で芯を切る(別添・摘芯図参照)	２、３日毎に鉢回し 日光によく当て できるだけ乾かし気味にし 根張りを良くする
７月　１日	本づる摘芯　　双葉２枚と本葉６枚残して切る	
５日	水肥を５００倍にし、１００ｃｃ以後毎日	
７日	子づるを２本に　(子づるが１５cm～２０cm位に伸びた時)	午後４時以降は乾いても水はやらない
１１日	子づるを１本に　(太くつぼみが良くついているものを選ぶ) 肥吸葉も切る	アブラムシ等の消毒を
１３日	水肥５００倍で２００ｃｃ	
１６日	あんどんを立てる　つるを左巻きに支柱に巻いていく。(午後がよい) 朝夕液肥開始 ※雨が降ったり止んだりで蕾がつきにくいときはリン酸、カリ分の水肥を３、４日続けてやる	
	増し土をする　　※４、５日置いて少しづつ２回位	よほど乾いたときは １日２回水やり
１８日	会期中蕾芽確認	
２８日	上段つる止め 朝夕液肥打切り	水のみ　３００cc位
８月　1日	午後から展示会場へ鉢の搬入	１日３、４回、３日間後は
2日	千代女あさがおまつり〔開会式：午前９時予定、審査：午前５時３０分より〕	１日１回、２回２００cc位
～6日	〃　　展示期間	

★　　天候や置き場所によって　多少の違いがありますので、目安にしてください

摘芯 大きい花を咲かせたい時は必要です。

～1回目～　図②をご覧下さい



図②

1．②を参考　本葉イの部分をつみ取る

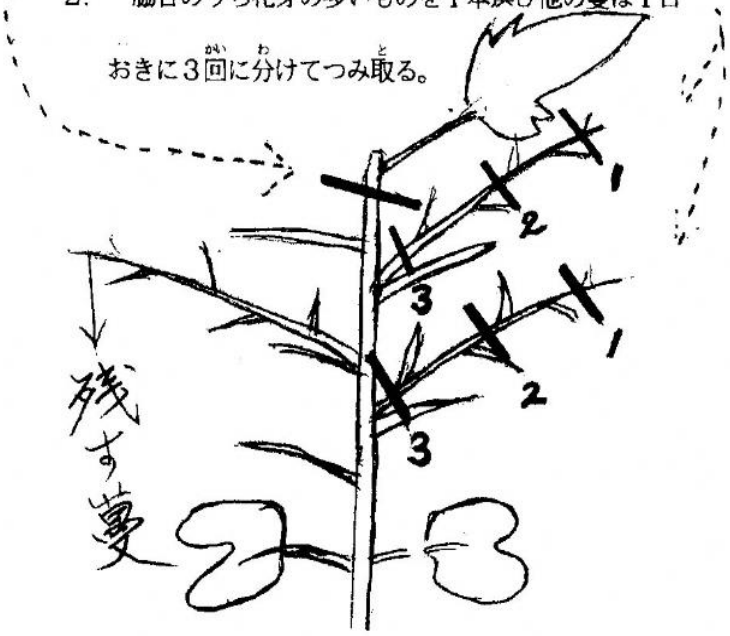
2．2～3日後本葉6枚を残してロの部分をつみ取る

3．脇目（○印のもの）3つ残しとる。

～2回目～　図③をご覧下さい

1．　図③を参考に残した脇目から伸びた蔓が10cm程になったら本蔓の先端を残した葉をつみ取る。

2．　脇目のうち花芽の多いものを1本選び他の蔓は1日おきに3回に分けてつみ取る。



図③